

TPiCS、アスプローバ合同経験懇談会開催—潜在する生産課題に生産管理のプロがズバツと解答！

2008年5月29日～30日の2日間、深センNTTデータ網藍軟件服務有限公司(NTT DATA EastNet)本社において、日本のTPiCS研究所とアスプローバ株式会社の合同開催による経験懇談会が開かれた。



初日、生産管理システムの開発メーカーとして、1984年から24年間、生産管理に特化したシステム業務を遂行し、現在すでに1549社のユーザーを有する生産管理システムのプロフェッショナル企業、TPiCS研究所の生産管理専門家・高野雅人氏が、「製造業が抱える5つの生産管



理の悩み」というテーマで講演。その中で同氏は、製造業が抱える悩みを大きく5つに分けて分析、それぞれの問題に関して攻撃型生産管理システム「TPiCS」を用いた解決提案を述べた。

具体的には、従来の生産管理システム(MRP)と違う、TPiCS独自のf-MRP(flexible MRP)機

能を活かし、企業の JIT 生産管理方式 (JUST IN TIME) を実現させ、市場変化に素早く対応できるようにするのが狙い。



そして2日目、アスプローバ株式会社コンサルティング部部長・上村義孝氏が講師を務め「要求の高い生産体制下で生産スケジュール効率をUPさせるには？」をテーマに講演した。同社は日本の製造工場に 1000 以上のスケジュール導入の実績を持っており、これまで培ったノウハウ (かんぱん、セル生産など) を交えた講演となった。

“仕様変更に強いマスタ設定” “納期遅れ解消” “リードタイムの短縮” “仕掛在庫の削減” “Asprovaを用いたスケジュールリング” を主題に丁寧な説明が行なわれたほか、実際にパソコンを使ってのデモンストレーションもあり、参加者たちは自ら操作することで、Asprovaの効果を実感していた。



出席した企業担当者たちの大半が、それぞれの会社で抱えている問題解決の糸口を見つけるために出席しており、2日間にわたる高野、上村両講師の講演を熱心に拝聴していた。

この合同経験懇談会は、TPiCS 研究所、アスプローバ株式会社両社の中国における大手ソリューションサービスパートナーである NTTDATA EastNet の協賛で実現した。NTTDATA EastNet では中国における日系製造業が、市場存続を図るための価値あるサービスやソリューション活動を行っており、この合同経験懇談会もその一環だ。

なお、同経験懇談会は6月 18 日～19 日に天津でも開催が予定される。NTTDATA EastNet では引き続き日系製造業に向けた企画を検討していく。